

## 近代3種競技が開催されました

8月5日(日) 串間市総合運動公園で「第2回近代3種大会 in 串間」が開催されました。参加者はスイム、ラン、射撃の3種に挑戦。市内外から、約120人が参加しました。



射撃を行う参加者たち

## 幸島の母を偲ぶ

8月5日(日) 市木公民館で「三戸サツエさんを偲ぶ会」が開催されました。参加者は三戸さんとの思い出を語り、「今後も彼女の想いを引き継いでいく」と話していました。



三戸さんの思い出を語る参加者



# My Town Topics まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

## 炎天下でのイモ掘り大会



8月19日、JA大東青年部が主催するイモ掘り大会がありました。炎天下の中、市内外から約300人が参加。青年部が春先から管理してきた畑。「家の畑より良質なイモが出来た」と自信満々。子どもたちはサツマイモを手一杯に抱えて、楽しそうに畑を駆け回っていました。なかには掘り過ぎて、親に怒られる子どもの姿もあり、周囲の笑いを誘っていました。



INTERVIEW

大きなイモ  
都城市  
原口萌乃佳ちゃん  
佳龍くん

山之口町から来ました。ほとんど初めてのイモ掘りです。大きなサツマイモがたくさん採れて楽しいです。20個くらい採りました。焼きイモとか天ぷらにして食べるのが大好きなので、家に帰っておいしい焼きイモを食べるのが楽しみです。

Scene 5

## 自分でできる防犯考えて



8月10日、防犯・マイバッグ利用推進啓発キャンペーンがありました。8月中を活動期間とする『夏の地域安全運動』の一環で、串間地区防犯協会と串間市マイバッグ利用推進会議が合同で開催。防犯についてのチラシ・啓発グッズの配布や、マイバッグの利用率調査を行いました。串間警察署少年柔道部「岬」の皆さんも配付をお手伝い。防犯を呼び掛けていました。



INTERVIEW

身を守るため  
福島小6年  
福田涼介くん

今年で3回目の参加です。最初は受け取ってもらえるか心配でした。でも、みんな気持ち良く受け取ってくれてうれしかったです。何かあったら大声で助けを呼んだり、戸締りに気を付けるなど、自分でできる防犯を心がけていきたいです。

Scene 4

## ごみのない道を目指して



8月9日、串間土木事務所と市役所、建設業協会、測量設計事務所が合同で、串間地区道路・河川愛護デーの清掃活動を実施しました。7月の『河川愛護月間』、8月の『道路ふれあい月間』に合わせて毎年行われています。集まった参加者は約150人。火ばさみとごみ袋を片手に周囲の県道や市道をくまなく回り、約1時間かけて計24袋のごみを集めました。



INTERVIEW

目立ったごみ  
福島中3年  
河野健介くん

母の仕事の関係で初めて参加しました。思っていたよりごみの数は少なかったです。でも、プラスチックやビニール袋のごみが目立ちました。これらのごみは分解されないで自然に残ってしまうので、ポイ捨ては絶対に止めてほしいです。

Scene 3

## 平和への想いを届けます



7月26日、秋山小学校で千羽鶴の贈呈式がありました。原爆で多くの児童が犠牲になった長崎市・山里小学校に毎年届けているもので、今年で30年目。児童たちが平和を願いながら約1カ月かけて作成。8月9日に山里小を訪れる県原爆被害者の会串間支部長の郡司正明さんに鶴を託しました。郡司さんは「皆さんの想いを必ず届けてきます」と話していました。



INTERVIEW

願いを込めて  
秋山小学校5年  
野辺なつみさん

平和を祈りながら鶴を折りました。1年生に教えながら、80羽ぐらいは折ったと思います。みんなで戦争のことをいろいろ話しました。郡司さんのお話を聞いて戦争の苦勞が分かりました。戦争は二度と起こってほしくないと思いました。

Scene 2

## 夏の風物詩に多くの人出



7月23日、夏の恒例行事であるあたご祭りがありました。祭りに合わせ旧吉松家住宅敷地内の愛宕神社も開放。たくさんの人が参拝していました。歩行者天国になった仲町通りには出店がずらり。人だかりのなか、浴衣姿の子どもたちの笑顔が目を引きました。また高校生のバンド演奏や市青年団協議会が主催するゲームコーナーなども祭りを盛り上げていました。



INTERVIEW

ゲーム楽しい  
福島小  
河野隼佑くん  
とお友だち

友だち4人で来ました。神社で神様に「これからも親友でいられますように」とお願いしました。ゲームコーナーの射的が楽しかったです。他の人がやっているのを見ているだけでも面白かったです。景品のカブトムシもすごく良かったです。

Scene 1

## 地域の防災について学ぶ



7月21・22日、総合保健福祉センターで宮崎県防災士養成研修基礎コースが開催されました。日南・串間市民45人が参加。災害時の図上訓練や市消防署による救急救命講習を熱心に学んでいました。防災士はNPO法人日本防災士機構が認定する民間の資格のひとつで、来年2月までにレポート提出や専門コースの受講、試験合格を経て防災士に認定されます。



INTERVIEW

地域のために  
福島地区・西今町  
松山勝次さん

東日本大震災から防災を意識するようになりました。地域のために何かできないかと受講を決めました。救急救命を実際にやってみたことが、一番役に立ったと思います。ほかの人も受講して、地域の防災について考えてみてほしいですね。